



2022年度診療報酬改定の基本的考え方

臨床検査は、
改定の基本方針の1つである
「効率化の視点」に立ってその評価を見直す



具体的には、
衛生検査所等調査より得られた実勢価格に基づき、
保険償還価格と実勢価格の乖離が大きい検査につ
いて評価を見直す



検体検査に関する改定の概要

◆ 引き下げ項目 (213項目) (点数表掲載: 773項目)

- ・尿糞便等検査 (8項目)
- ・血液学的検査 (20項目)
- ・生化学的検査 (Ⅰ) (30項目)
- ・生化学的検査 (Ⅱ) (67項目)
- ・免疫学的検査 (80項目)
- ・微生物学的検査 (8項目)

◆ 引き上げ項目 (17項目) (すべて微生物学的検査)

- ・細菌顕微鏡検査 61点 → 67点
- ・細菌培養同定検査
 - 口腔、気道、呼吸器からの検体 160点 → 170点
 - 消化管からの検体 180点 → 190点
 - 泌尿器、生殖器からの検体 170点 → 180点
 - 血液、穿刺液からの検体 215点 → 220点
- ・細菌薬剤感受性検査
 - 1菌種 170点 → 180点
 - 2菌種 220点 → 230点
 - 3菌種以上 280点 → 290点

◆ 新設項目 (24項目)



2022 年度改定の引き下げについて

診療報酬点数表掲載検査項目：773項目



引き下げられた項目数：213項目 (27.6%)

引き下げ幅は  最小 最大
0.4 ~ 8.3 %



検査分野 (引き下げ項目数)	引き下げ率(%)
尿糞便検査 (8)	1.21 ~ 2.96
血液学的検査 (20)	0.52 ~ 8.33
生化学的検査(Ⅰ) (30)	1.79 ~ 2.88
生化学的検査(Ⅱ) (67)	0.45 ~ 2.98
免疫学的検査 (80)	0.38 ~ 2.99
微生物学的検査 (8)	2.53 ~ 6.13

臨床検査の重要性を考慮した小幅な引き下げ



今改定の検体検査実施料に対する見解

◆ 技術者の技能やコストがかかる検査

- ・微生物学的検査（細菌培養同定、薬剤感受性等） ■■■→ **引き上げ**

◆ 大量処理が可能な検査（機械化が進んでいる検査）

- ・生化学的検査（Ⅰ）
 - ・生化学的検査（Ⅱ）
 - ・免疫学的検査
- } ■■■→
- 引き下げ（0.4～3.0%）**

（今回の改定においても、特に外部委託が多い汎用特殊検査が対象）

◆ 点数が低い検査 ■■■→ **現状維持**



過去の改定では、市場実勢価格の下げ幅を考慮の上、
検査分野に関係なく一律に適正化（引き下げ）が行われてきた

大幅な引き下げを回避

（今回の実勢価格との乖離率は20%？程度）



臨床検査は診療に重要なエビデンスとして評価



令和4年度診療報酬改定の概要

検査分野区分	項 目 数				対前年比※
	引き上げ	変更なし	引き下げ	新 設	
尿・糞便検査	0	74	8	2	-0.09%
血液学的検査	0	79	20	16	-5.51%
生化学的検査(Ⅰ)	0	101	30	2	-1.03%
生化学的検査(Ⅱ)	0	70	67	4	-1.00%
免疫学的検査	0	174	80	13	-0.42%
微生物学的検査	17	45	8	2	0.17%
合 計	17	543	213	39	-2.93%

※日本衛生検査所協会による算定値



令和4年度診療報酬改定の影響

(社会医療行為診療別調査(令和2年(2020年)6月)数値より算出)

検査区分	件数	2020年点数	2022年点数	点数差異	変化率
尿・糞便等検査	7,207,778	233,102,329	232,513,156	−589,173	−0.25
血液学的検査	20,593,409	778,604,645	769,846,561	−8,758,084	−1.12
生化学的検査(I)	17,866,931	1,459,206,852	1,425,178,722	−34,028,130	−2.33
生化学的検査(II)	5,324,480	829,761,369	817,459,947	−12,301,422	−1.48
免疫学的検査	11,516,986	852,415,264	845,244,142	−7,171,122	−0.84
微生物学的検査※	2,311,535	412,172,285	422,911,211	10,738,926	2.61
合計	64,821,119	4,565,262,744	4,513,153,739	−52,109,005	−1.14

- 尿糞便等検査 : アルブミン定量(尿) : −0.24%
- 血液学的検査 : がんゲノムプロファイリング検査 : −0.85%、Dダイマー : −0.15%
- 生化学的検査(I) : 血液化学検査包括(10項目以上) : −2.00%、
フェリチン半定量・定量 : −0.10%
- 生化学的検査(II) : 内分泌 : −1.20% (TSH、FT4 ; −0.70%)、腫瘍マーカー : −0.12%
- 免疫学的検査 : 肝炎ウイルス関係 : −0.23% (HCV抗体定性・定量 ; −0.21%)、
自己抗体検査 : −0.29%
- 微生物学的検査 : 細菌培養同定 : +1.67%、細菌顕微鏡検査 : +0.67%、
薬剤感受性検査 : +0.58%、微生物核酸同定・定量検査 : −0.38%

※ 2022年点数の数値には「SARS-CoV-2核酸検出(検査委託)」の点数を含めておりません。



(参考) 令和2年度診療報酬改定の影響

(社会医療行為診療別調査(平成30年6月)数値より算出)

検 査 区 分	件 数	2018年点数	2020年点数	点数差異	変化率
尿・糞便等検査	8,839,396	272,253,270	271,655,449	-597,821	-0.22
血液学的検査	24,285,761	835,232,912	832,739,763	-2,493,149	-0.30
生化学的検査(I)	22,373,614	1,744,573,734	1,704,290,302	-40,283,432	-2.31
生化学的検査(II)	6,122,559	971,537,018	958,016,217	-13,520,801	-1.39
免疫学的検査	15,951,226	1,244,973,723	1,232,155,427	-12,818,296	-1.03
微生物学的検査	2,996,732	447,670,285	445,965,147	-1,705,138	-0.38
合 計	80,569,288	5,516,240,942	5,444,822,305	-71,418,637	-1.29

尿糞便等検査 : アルブミン定量(尿): -0.21%

血液学的検査 : Dダイマー: -0.19%、造血器腫瘍細胞抗原検査: -0.05%

生化学的検査(I) : 包括(10項目以上): -1.94%、フェリチン半定量・定量: -0.09%

生化学的検査(II) : 内分泌: -1.18% (TSH、FT4; -0.677%)、腫瘍マーカー: -0.18%

免疫学的検査 : 感染症免疫関係: -0.48%、肝炎ウイルス関係: -0.24%

微生物学的検査 : 細菌培養同定(血液・穿刺液): +0.10%、HBV核酸定量: -0.22%
淋菌・クラミジア核酸検出関係: -0.18%